

全国初開催！ 職場の教養セミナー開催のお知らせ

職場の教養の活用をさらにブラッシュアップしてみませんか…
職場のスタイルに合わせて選べる昼夜2回の開催！

日時：令和7年6月5日（木） 選べる2回開催

日中の部： 13：30～15：00

夜の部： 18：30～20：00

会場：山形流通団地組合会館 2F 大会議室 山形市流通センター2-3
TEL:023-633-2244

会費：無料

講師：一般社団法人倫理研究所 研究員 勝又 一真氏

対象：山形県倫理法人会 会員様（未会員様もOK!!）

携行品：職場の教養6月号（お持ちの方はご持参ください）

服装：自由（制服や仕事着でOKです）

内容：セミナーは職場の教養に特化したもので、朝礼研修とは異なります。

締め切り：令和7年5月21日まで県事務局 FAX023-616-4156へお申込みください。

<座学>

- ・職場の教養から朝礼の大切さ
- ・1日1話執筆エピソード
- ・活用効果や導入のポイント

<実習>

- ・職場の教養の流れや使い方
- ・実践するうえで大切なポイント
- ・参加者同士の意見交換



山形県倫理法人会キャリア委員会 4地区懇談会開催報告

令和7年度のキャリア委員会では目的である会長経験者の懇親を深め、
更には現役職者との交流を図ることにより協力体制を築き、山形県倫理法人会の活性化を達成するため、地区毎の懇談会を開催することとなり4地区
において右記のとおり開催いたしました。

県三役・単会所属歴代会長・現単会会長・現専任幹事に参集いただき和やかに現状報告、意見交換、今後の単会運営についてなど懇談し、今後のキャリア委員会の運営については、複数回の開催を行い、情報交換の機会にした方がよいとの意見もいただきましたのでご報告いたします。

1. 置賜地区懇談会 参加者：14名
日時：3月28日（金） 18：30～20：30
会場：熊野大社 證誠殿

2. 山形地区懇談会 参加者：14名
日時：4月3日（木） 18：00～20：00
会場：紅花樓

3. 村山地区懇談会 参加者：12名
日時：4月4日（金） 18：30～20：30
会場：民謡の宿あづまや

4. 庄内地区懇談会 参加者：14名
日時：4月19日（土） 18：30～20：30
会場：龍の湯

女性委員会「元氣ハツラツ朝活勉強会」 開催報告

女性委員会の「元氣ハツラツ朝活勉強会」は、1日を無理なくケガなく健やかに過ごすために朝起きてすぐできる運動というコンセプトで行いました。

MSは早朝より行われていますが、コンディションが悪いと1日中シャキッとしません。また朝、体を動かすことは健康へのメリットも大きく各人の健康維持にも有効です。朝なのでゆっくりと伸びを加えながら、各自の体の声を聞きながら決して無理をせず気持ち良く、皆が知っている簡単な動きばかりですが正しいフォームで行うと、段々体中が熱くなって血行が良くなっていくことを実感しました。7、8種類の動きを覚えてもらいましたが、休憩中や座ったままでもすぐにでき、簡単でいつでもできるものでした。姿勢をチェックし合ったり休んで水分を取ったり、自分のペースで和気あいあいと楽しく体を動かせました。

終了後は口々に「参加して良かった」「体が軽くなった」と笑顔で帰宅され、このように喜んで頂ける勉強会をまた企画したいと思いました。ご指導頂いた安藤様、ご参加の方、ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

期 日：4月10日（木）13時：女性委員会
14時：勉強会

会 場：山形県倫理法人会事務局

講 師：マイセラピスト代表 安藤友樹氏
（山形市倫理法人会会員）

参加者：会場15名 zoom8名 計23名

母なる川 最上川

最上川は、米沢の源流より盆地と峡谷の間を縫いながら流れ、流域周辺には豪雨・豪雪地域があり、自然災害や舟運難所を生み出したりする「暴れ川」でもあります。しかし一方では、豊かな土壌を育てる基でもあります。

今号では、昨年7月の豪雨災害でまさに「暴れ川」の大きな痛手を受けたにも関わらず、「プロが選ぶ水上観光船30選」で4年連続日本一となられた、最上峡芭蕉ライン観光(株)様取材し、

特集記事として取り上げさせていただきました。

今、世界中が混乱の最中にあり、会員企業の皆様の経営も不安定な時代となっているのではと思いますが、このような時こそ明るい情報の「何故？」を解明し、自社の経営のヒントとなりますよう、この会報誌が少しでもお役にたてれば嬉しく思います。「ヒント探し」の旅にでかけてみませんか！

広報委員長 福崎真知子



編集後記



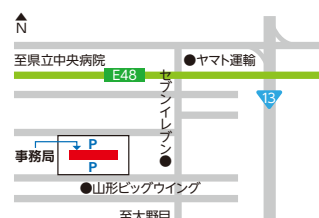
一般社団法人 倫理研究所

山形県倫理法人会

事務局 / 〒990-0071 山形県山形市流通センター2-3

TEL:023-615-8966 / FAX:023-616-4156

https://www.yamagata-rinri.net/ E-mail info@yamagata-rinri.net



山形の母なる川
Mogamigawa

山形県倫理法人会 広報 最上川

令和7年(2025)5月20日発行 www.yamagata-rinri.net

最上川

VOL.
74

特集

最上峡芭蕉ライン観光株式会社”プロが選ぶ水上観光船30選V4”02

・富士研参加者報告 04

・北海道・東北方面会報告 06

・倫理経営講演会開催報告：天童市 特別MS開催報告：米沢市 07

・職場の教養セミナー開催のお知らせ キャリア委員会4地区懇談会開催報告

女性委員会「元氣ハツラツ朝活勉強会」開催報告 編集後記 08

もがみがわ四季彩舟下り



一般社団法人 倫理研究所

山形県倫理法人会

もがみがわ四季彩舟下り
最上峡芭蕉ライン観光株式会社

“プロが選ぶ水上観光船30選V4” 4年連続第1位に輝きました！
山形県立自然公園・日本三大急流・世界三大舟唄

2024年7月の豪雨災害で屋形船16隻のうち、実は11隻が秋田県まで流されているにも関わらず、見事復旧され今回の快挙！是非、復旧秘話と受賞の謎を解明したく探検ツアーに。代表取締役の鈴木富士雄氏は新庄最上準倫理法人会の初代会長。広報委員会では特集記事、明るい話題提供として企画いたしました。



「山笑う 桜満開」の好季節、我ら5名、古口港戸澤藩船番所より、いざ最上峡ライン観光出発！

船乗り場の入口にはこの高さまで豪雨水害であったという印がついている箇所の説明を受けました。11隻が流され修理中であるにも関わらず、7日後の8月1日には5隻で営業再開、そのスピード感には感銘を受けました。

芭蕉ライン観光の目玉は船頭さん！どんな方が興味津々。山科 亨氏、自らを「船頭役者 山科ノロ」と名乗る。所々に見える豪雨水害の爪痕の説明がしっかりとありつつ、最上川舟歌、そして巧妙な話芸の披露、乗船者を飽きさせない、さすが“プロが選ぶ水上観光船V4”にふさわしい船頭役者さんで、あっという間の50分の遊覧でした。



最上峡は今年の豪雪の雪解けで水が満々と流れ、岸边は桜が満開、山並みは新緑の樹々があちこちにあり、船に揺られながら春爛漫を満喫。コロナ禍の後、インバウンドにより海外からのお客様も多いとのことで、最上川舟唄は日本語の他、英語（山形弁）もあり、海外の方は出羽三山、蔵王、銀山温泉、そして最上川舟下りが、現在メインの観光となっているとか・・・

最上川舟下りは、春の桜と新緑、夏の青葉、秋の紅葉、冬の雪景色と、四季折々の景色・風情が楽しめ、冬季にはこたつ船となり豆炭で暖をとりながら水墨画のような風景を眺め、まさに日本一の水上観光船が体感できます。

さあ、個性豊かな船頭さんたちのトークによる最上峡ライン観光を楽しんでみませんか！



本社
〒999-6401 山形県最上郡戸沢村大字古口86-1
TEL.(0233)72-2001 FAX.(0233)72-2003
<https://www.blf.co.jp/>



舟下りの後、手打ちそばを堪能し、鈴木社長にインタビューしました。

Q1:2024年7月の豪雨災害で屋形船16隻のうち、11隻が秋田県まで流されたそうですが、その時の様子は？

A1:昭和19年に水位上昇8.7メートルという水害がありましたが、今回は10.57メートルという最大級の経験。船は壊れられ、結果的には11隻流出、内2隻は日本海、秋田県まで流され海上保安庁から連絡があり、その後、陸路で戻り、現在は10隻で運航、ようやくお客様も戻ってきており安堵しています。

Q2:入会のきっかけと、新庄最上準倫理法人会の会長をされたそうですが、その経緯は？

A2:酒田米菓の佐藤さんが来社されて「職場の教養」を渡され気持ちが動き入会しましたが、その後新庄最上に新しい倫理法人会を開設することになり、その際、熊谷さんにどうせやるなら初代会長にと勧められて、覚悟を決めて引き受けました。現在も、倫理についていろいろと学んでいますが、すごい会だと思っています。

毎週曜日を決めて各単会がモーニングセミナーと称し、一同に会して実施している。特に「万人幸福の栞17カ条」は、人間が生きていく上での気付きや寄り添う大事さなど、最高のフレーズで書かれており、自己実現へのアプローチと思っています。私の人生は、倫理の訓えがあつてこそ成り立っています。

Q3:会社の成り立ちは？

A3:1964年（昭和39年）設立、当時、戸沢村は豪雪や水害で厳しい経済状況であり、何とか地域活性化のため立ち上がろうと出資者30名により株式会社として設立しました。最初は旅客不定期航路事業としてスタートし、下船場に「最上川観光センター」として売店とレストランを設立、1980年本社と、戸澤藩舟番所を復元、同時に売店と食堂部門の開設をしました。2006年には本社舟番所のリニューアル、2007年にはイス船を導入し、高齢者も快適な環境となりました。2017年に全国の旅行会社の投票による“第1回プロが選ぶ水上観光船30選”（主催：旅行新聞新社）で第1位となり、2024年度も第1位で連続4回目となりました。私は1999年、4代目代表取締役に就任しました。

Q4:どんな朝礼をしていますか？

A4:毎朝8:20に開始、昨日の結果報告、本日の仕事の確認、その後一日おきですが「職場の教養」の輪読後、リーダーが感想を述べる人を当てます。終礼も17時から行い、仕事の報告をして一日が終わります。

Q5:今後の会社のめざす姿は？

A5:豪雨水害では苦戦しましたが、会社や人間は逆境の時に伸びると思っています。順調の時にはおごりができます。倫理では、蓄えが大事との訓えがあり、昨年の豪雨水害は最大の危機でしたが、何とか乗り越えられました。まさに「万人幸福の栞17カ条」に載っている「苦難福門」の訓えのとおり、今後も歩んでいきたいと思っています。

使命感

『遊客の笑顔を求め、真心と思いやりで乗せる芭蕉ライン安全なくして笑顔なし』
私たちは、限りない顧客満足をめざし、日々、改善・改革を続け努力邁進いたします。

経営理念

『輝く最上峡の舞台で、日本一の感動を創り関わる人々と喜びを享受する』

会社情報

もがみがわ四季彩舟下り

最上峡芭蕉ライン観光株式会社 代表取締役社長 CEO 鈴木 富士雄



代表取締役社長 CEO
鈴木 富士雄 氏



令和7年度 富士高原研修所「経営者倫理セミナー」 「富士研」参加者報告

純粋倫理の実践を、チームワークをもとに体感する「経営者倫理セミナー」が2月15日(土)～17日(月)2泊3日で開催されました。秀逸の建築空間と富士山麓の自然を舞台に実施されるセミナーは、日常実践の体得と感謝の心を深め、気づきをとらえ、自身の変化が家庭や事業の運命を左右し、日本の創生へとつながるきっかけとなります。

経営者の意識改革が、会社・社員の成長に！ 今回は次の3名の方から貴重な体験報告をいただきました。



寒河江市倫理法人会 会長 太田 光

ハイとは、すべてを受け入れること 愛和のみそぎを通じて

富士研2回目の挑戦。2回目から「愛和のみそぎ」が出来る「チャレンジコース」に申込み、お風呂場で毎日、水風呂の練習をしましたが、冷たくて叫びながらの日々でした。2か月ほど練習を重ね意気揚々と富士研に向かいました。天気は素晴らしく、まるで快く富士山が迎え入れてくれている様でした。会場につくと前方面長の松本さんが迎えてくれ、凜とした雰囲気から前回の富士研を思い出します。今回は家族、仕事、自分、倫理との向き合い方に焦点を当てての参加です。

カリキュラムでは私が好きな自招正座という自分と向き合う時間があり、今回の正座は4回目ですが、毎回親に幼少期から今まで大切に育てられた事を思い出し感謝で涙が止まりません。今回も親と繋がれるのか、しかし目を閉じていると、まぶたから太陽の光を感じると共に亡くなったおばあちゃんが満面の笑みで現われました。最初は何か私に忠告または怒っているような感じでしたが、少しすると大好きな演歌を笑顔で歌っていました。自招正座をすると誰かと会話ができるとは聞いていましたが、不思議な感覚で、それから祖母が何を伝えたかったのかずっと考えていました。

愛和のみそぎの本番まで3日間で3回の慣らしがあり、滝での足入れ5分、氷水に手を5分、夜に頭からバケツ2杯被る、本番は50分ほど足入れ滝行、これらは水温が5度位。家の水道水は約15度。今までの練習はお遊びだと気づき、5度の水に足入れ手入れどちらも痛いほど冷たく、すぐに頭の中でかけ巡ったのはどうしたらこれを止められるか。そう私は苦難からすぐに逃げようとしていましたが、周りを見渡したら誰一人逃げ出そうとしていない、自分の弱さに直面した瞬間。もうやるしかない。我慢して冷たさに耐えましたが、冷たさで涙が流れました。しかし終われば身体は水に慣れ、新たな毛細血管が生まれ私を暖めるとのこと。

祖母が何を訴えているのか分からずに最終日、いよいよ愛和のみそぎ滝行の時間。滝の前で5度の水に足入れ正座。冷たいと言っていると、『冷たい水を受け入れてください』と言われ、受け入れ、許否、を何度も何度も繰り返しました。そうすると受け入れている時は冷たさを感じず、この冷たさから逃げると言う感情が湧かない事に気づき、その瞬間、祖母が一人目の夫を早くに亡くしている事を思い出したのです。私の祖父になる二人目の夫にも先立たれとても悲しかったはずですが、会いに行くといつも笑顔で演歌を歌っていたのです。念願の孫を見せた次の日に亡くなりましたが、その時も笑顔でした。祖母は私に『起こること全てを受け入れ笑顔で生き抜きなさい。逃げない事。辛かったら歌でも歌いなさい』と。滝に打たれながら、ありがとう!おばあちゃん!と感謝し愛和のみそぎを終了いたしました。愛和のみそぎを通じて先祖と繋がったこと、逃げるのではなく全てを受け入れる事を教えていただいた貴重な体験でした。

最後に私の会社の経営理念は、祖母から母へ、母から自分、そして会社に受け継がれている事に気づきました。

私たちは、光一笑顔のおもてなしで、笑顔の輪を繋ぐ運転代行を目指していきます。



酒田市倫理法人会 会長 齋藤 直

この度、参加させていただいた理由として、以前酒田の会員さんから極寒の時期に行った様々な体験談、特に滝行でのみそぎ体験のお話を聞き、私もいつか冬季のセミナーでの愛和のみそぎ体験(滝行)チャレンジコースに挑戦したかったことでした。

そして、単会会長としてのMSセミナーの活性化、普及拡大の悩みや責任、倫理への想いが薄れてきている気持ちのリセットを含め、3年ぶり二度目の富士高原研修所「経営者倫理セミナー」に参加させていただきました。

研修所に到着後の血圧検査で、普段より断然血圧が高く通常コースでの参加となりましたが、全国から集まった経営者との2泊3日の研修は中身が濃く、団結力の大切さ、あいさつ実習の達成感、そして二度と同じメンバーでチームを作ることができない中で、少しずつ心が通じ合ってくる感覚の充実した時間は、感動と感謝の気持ちでいっぱいでした。

最終日に「決意策定」の時間で、お世話になった方に手紙を出す実践があり、私は母と妻に手紙を書き研修所から郵送していただきました。

普段は家族に手紙を書く事はないのですが、感謝の気持ちで涙を流しながら書いたところです。

自宅に帰ってから母と妻からは「ありがとう」と言葉をもらったのですが、その後母から手紙を貰いました。「直へ生まれてきてくれてありがとう・・・」からはじまり小さな便箋5枚の手紙でした。まさかのサプライズでしたが私の宝物となりました。

富士研に参加してよかった～、指導員さん、関係者の皆さんありがとうございました。



山形市倫理法人会 会員 山口 俊一

3日目の朝、奇跡は起きた。挨拶テストの再テストを126人全員でやることに。歴代初の取り組みとなった。研修所の試験官の方も、作戦会議に入った。

結果、研修所の試験官の4人が各自の感性でジャッジをし、4人全員の手が丸(OKの意)になったら合格ということに。

中島みゆきの「地上の星」が流れ、挑戦が始まった。ずっと4人の手は、バツ(ダメの意)のまま曲の後半にさしかかった。すると一人の手が丸になった。そこから、数秒後、曲は終わった。挑戦も終わりかと思ったら、なんと2曲目が流れた。曲の名前も覚えてないくらい、笑顔で必死に挨拶を続けた。やがて、丸の数が2人、そして、3人になった。そのたびに「お～っ」というどよめき起きる。でも、なかなか4人が全て丸にならない。いつしか参加者全員の心が「無」に近づいていった。合格よりも「心をひとつにすること」に気が集まり出した。その時、4人の試験官の手が丸になり、会場は歓喜に包まれた。

一生忘れれることのできない貴重な体験であり、これこそが、富士研だと思った。



令和7年度「北海道・東北方面会」報告

期日:令和7年3月10日(月)～11日(火)
会場:グランドメルキュール札幌大通公園
参加者:北海道・東北7道県から総勢198名
山形県は小松県会長以下28名の参加

記録:幹事長 松田 幸雄



一日目は、法人局和田毅局長より、全ては天命と受け止め「倫理法人会憲章の活動指針・会員心得を重視し、倫理活動を通して自分の人間性を磨く場と心得て行動する」との講話がありました。

次に「中間目標に挑んだ私達」と題して、自分たちの掲げた普及中間目標をいかにして克服したか!各道県の代表の活動報告が行われ、山形県は代表として、南陽市倫理法人会の樋口雅己会長と和田廣地区長が発表を行った。

次に、方面会初の試みとして方面外の茨城県からゲストを招き、講演が行われ、茨城県倫理法人会の小室光由会長は、「一貫してやって来た事は基本を守る事、基本に磨きをかけて行く事、役職者は受け身では無く、それぞれが主役となり、数を追うのでは無く自己革新を図り純粋倫理で勝負をすること」と述べられた。

続いて、松山昭彦幹事長が「モーニングセミナー活性化の為の決め事として、県役員と単会三役は倫理指導を受ける。倫理指導を受けることで実践者が増えていく。単会のモーニングセミナーで、倫理指導を受けて、実践した会員に会員スピーチをしていただく。モーニングセミナーは純粋倫理を学ぶ場であることを忘れず、客寄せパンダの有名講師に頼らず、本物の倫理で勝負が出来るスピーチ者を増やすことが重要」と述べられた。

その後、方面内の活動表彰等が行われ、懇親会に臨んだ。

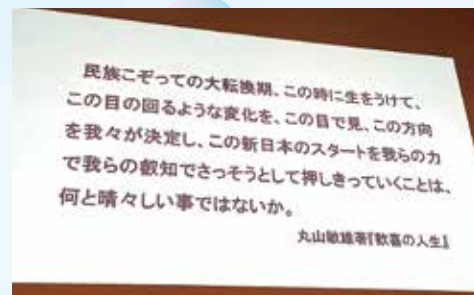
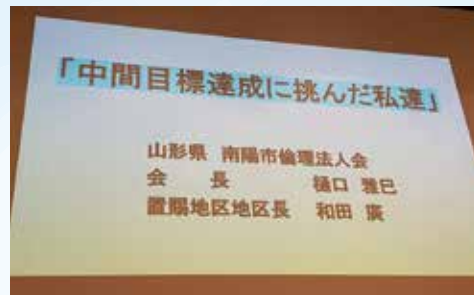
二日目は、代表三名による実践報告が行われた後、各道県毎の分科会が行われ、山形県は参加者による感想を共有し、各単会毎に期末目標達成の意思表示を行い、参加した全単会が目標達成すると宣言した。

小松会長のご提案で、4月末まで県役職者及び単会役職者全員が倫理指導を受け、下半期の運営に当たる事が決まった。

最後に、和田毅局長から「2日間の学びと気づきを下半期に繋げ活かしていただきたい、そしてその学びと気づきを持ち帰り、その情熱と共に単会幹事に伝えてほしい」と述べられ、お互いしっかり役職に取組んで努力をしていただき未会員を巻き込んで日本創生を成し遂げて行きましょう。と結ばれた。

【補足事項】方面会とは

各都道府県の倫理法人会は7つの方面に分かれており、山形県は北海道東北方面に属しています。倫理研究所では、年度中間期に方面毎の「方面会」を開催し、前期の振り返りと後半に向けた方針の確認を行い、各道県との交流を図る事を主な目的としています。参加対象は、各都道府県の三役・地区長及び単会の会長・専任幹事となっています。



天童市倫理法人会 倫理経営講演会 開催報告

報告者:天童市倫理法人会 専任幹事 槇 ゆかり

期日:令和7年4月15日(火)
会場:天童温泉栄屋ホテル
講師:(一社)倫理研究所 法人局顧問 東納 英一氏
事業体験報告:(一社)倫理研究所 法人局 法人レクチャー 平井 俊行氏



平井俊行法人レクチャーの事業体験報告では、自分の頑固さが原因で息子さんと距離ができてしまったとお話がありました。倫理指導により4つの実践を行った結果、息子さんが戻り、事業継承をしてくれたというサクセスストーリーでした。4つの実践とは、息子さんに手紙を書く、お墓参り、親の足洗い、奥様への謝罪。これらを実践することで親と子の繋がり、目に見えない絆を感じる事が出来たそうです。

そして、東納英一法人局顧問の講演では、倫理経営について、素晴らしいチームを構築するには、①会社の社風 ②社員教育 ③社員の長所発見 ④喜んで働く ⑤会社の目的・目標を常に確認する ⑥セブンアクトについてなど、奥深い内容を分かりやすくお話くださいました。未会員の方々、また会員の皆さまにも熱心に講演を聞いていただき、きっとお役に立つ学びになったのではないかと思います。



運営側としては初めて利用する会場でしたが、充分にリハーサルを行うことでスムーズな開催ができ、また爽やかな司会進行と明るい雰囲気の中で、盛会に終わることができたことに感謝の心でいっぱいです。今後とも、私たちが倫理の学びを通じて心震えるような感動を体験する場として大切にしていきたい、また未会員の方や必要な方に倫理が届きますよう活動を重ねていきたいと考えております。

参加者の皆さまより、本当に素晴らしいお話だったので参加して良かったというご感想をたくさんいただきました。心より感謝申し上げます。

米沢市倫理法人会(第1146回)設立25周年 特別モーニングセミナー

報告者:米沢市倫理法人会 幹事 佐藤 千佳

期日:令和7年5月8日(木)
講師:(一社)倫理研究所 法人局 顧問 株式会社でん六 代表取締役 鈴木 隆一氏
タイトル:一人光る 皆光る

「苦難を思い出で語れる人生を」これは私が特別モーニングセミナーで抱いた想いです。

鈴木顧問は、会社の従業員の方たちが定年で60歳になられた際、感謝状贈呈、そして面談されるとのことでした。その際に従業員の方たちに必ず尋ねることが「仕事を通じての思い出」だそうです。思い出を聞くと殆どの方がお話しされる内容が、大変だった時のことを「思い出」として話されるそうです。私が今回の講話の中で一番衝撃を受けた内容です。大変だったこと、辛かったことを話せるまでには沢山の努力をし、諦めずに乗り越えたからこそ「いい思い出」として話せるのだと思います。私自身、今は苦難を思い出として話すことが容易ではないと感じました。



私は苦難に直面した時、「つらい・つらい」という想いに心が支配され、諦めてしまうことがあります。今回の講話で、苦難の時こそ「喜働・うれしい・ありがたい・お役に立ちたい」の一心で乗り越えることができることを改めて気づかされました。まずは喜働の実践として、一つ目に苦難に直面した時は、喜働が全ての出発点・明るく朗らかにの気持ちをもつこと。二つ目に「～なくてははいけない」の考えから「～する」という考えで、素直に物事に挑戦していきます。



でん六様は令和6年10月で創業100周年を迎えられたそうです。「苦境や試練を通して磨かれた人間たちこそが、よりよき未来を創造する」とおっしゃっていました。私もこれからの人生、まだまだ苦難に直面すると思います。実践を通して苦難を乗り越え「思い出」として話せる、そしてタイトルにあるように「光る人生」を歩んでいきたいです。